

1. 開会

(1)趣旨説明

片田 敏孝 （群馬大学大学院 教授）

全国各地から遠路、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。昨年、釜石市で第1回防災教育推進連絡協議会を開催した際には、立ち上げということで全国各地の取り組みの紹介をしていただきました。そして、第2回は、“防災教育はどうあるべきか”について議論することを目的に、和歌山県田辺市で開催することになりました。ご当地の田辺市長さんをはじめ、教育長さん、教育委員会の先生方に、開催にあたりまして多くの準備にご協力をいただきました。こういったご協力なくしてはできなかつたと思っております。本当にありがとうございます。



片田 敏孝 教授

今回は各地の取り組みの紹介が中心でしたが、今回の連絡協議会は、二つのパネルディスカッションを中心に、議論する時間を多くとっています。ほとんど筋書きのないパネルディスカッションになりますが、できるだけ率直な議論を皆さんとしていきたいと思っております。パネルディスカッションというと、パネラーが議論をするのを皆さんに聞いていただく、というイメージを持たれるかもしれませんが、本日はコーディネーターに「会場と一体感をもって、パネラーだけで議論しているだけでなく、会場にもバンバン話を振ってくれ」とお願いしてあります。皆さんは気楽に聞いている立場ではございません。本日はどう話を振られるかわかりませんので、緊張感をもって、この連絡協議会に参加していただきたいなと思っております。そして、二日間の議論を終えた際には、「こういう方法なんだ」という何かの感触を持っていただき、それぞれの学校に戻っていただきたいなと思っております。

震災から4年半が過ぎました。全国各地で防災教育の必要性が認識され、各学校では熱心な防災教育が展開されようとしておりますが、正直、まだまだ先生方には混乱というか、“どう防災教育を進めたらいいのか”ということに対して迷いがあるように思います。どちらかというみやみくもに一生懸命やっているという感じがあるようにも思います。僕たち自身もそうでした。そういう思いを共有する者同士が「こうするとうまくいきそうだ」「ああするとうまくいきそうだ」というものを持ち寄って、みんなで“共有の財産にしていきたい”というのがこの連絡協議会の趣旨です。先生方の取り組みの中で、パネルディスカッション以外でも、「自分はこんなことをやって、こんな良いところがあった」ということが、少しでもあれば、この場でどんどん皆さんに紹介していただきたい。そこから得られるものをみんなで共有して、持ち帰るといふかたちにしていきたいと思っております。ぜひ、二日間の議論に積極的に参加をしていただければと思います。

最後になりますが、市長さんをはじめ、田辺市の皆さんに重ねてお礼を申し上げたいと思っております。どうもありがとうございました。